

島根原子力発電所及び
人形峠環境技術センター周辺
環境放射線等測定結果（速報）

（令和6年度 第1～2四半期）

令和6年11月
鳥取県

ま え が き

鳥取県では、「令和6年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）」に基づき、原子力施設周辺の環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和6年4月から9月までの第1～2四半期の監視結果について、「鳥取県原子力安全顧問ワーキンググループ（モニタリング分野）」において検討し、確認されたものを速報としてとりまとめたものです。

目次

まえがき

令和6年度平常時モニタリング測定結果（第1～2四半期）

ページ

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1	目的区分	1
2	測定概要	1
(1)	概要	1
(2)	実施機関	1
(3)	実施内容	1
(4)	測定結果の評価方法	1
3	令和6年度測定結果	6
(1)	測定結果概要	6
(2)	測定項目別の結果	13

【Ⅱ 人形峠環境技術センター周辺】

1	目的区分	24
2	測定概要	24
(1)	概要	24
(2)	実施機関	24
(3)	実施内容	24
(4)	測定結果の評価方法	24
3	令和6年度測定結果	28
(1)	測定結果概要	28
(2)	測定項目別の結果	31

【Ⅲ 参考資料】

1	環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値	36
(1)	島根原子力発電所周辺	36
(2)	人形峠環境技術センター周辺	41
2	気象測定結果	42
(1)	島根原子力発電所周辺	42
(2)	人形峠環境技術センター周辺	47

令和6年度平常時モニタリング測定結果（第1～2四半期）

【I 島根原子力発電所周辺】

1 目的区分

鳥取県における島根原子力発電所周辺の環境放射線測定は、「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（以下「補足参考資料（平常時）」という。）に示す平常時モニタリングの目的のうち、次に掲げる目的において実施する。

なお、補足参考資料（平常時）の最低限実施が必要な項目には該当しないが、環境中の経時変化を把握する上で参考となる項目又は測定技術の保持が必要と考えられる項目については、「(参考)」として測定を継続する。

- ④ 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え
(参考) 環境中の経時変化の把握又は測定技術の保持

2 測定概要

(1) 概要

境港市及び米子市に設置している固定型及び可搬型モニタリングポスト、蛍光ガラス線量計によって空間放射線の測定を行うとともに、さらに固定型モニタリングポストでは、大気浮遊じんの全 α 及び全 β 放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

(2) 実施機関

鳥取県原子力環境センター
民間測定事業者（委託分析）

(3) 実施内容

令和6年度第1～2四半期の平常時モニタリングは、令和6年度環境放射線等測定計画に基づき実施した。当該計画の主な内容は、以下のとおりである。

ア 測定計画

表I-2-1のとおり。

イ 測定地点

図I-2-1、図I-2-2のとおり。

ウ 測定方法及び測定機器

表I-2-2のとおり。

(4) 測定結果の評価方法

空間放射線等の測定結果については、「平常の変動幅」と比較し、これを超過した項目については、気象要因等の自然条件の変化、原子力施設の稼働状況等を調査して、原因について検討する。

また、「平常の変動幅」を設定するためのデータの蓄積が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考とする。

表 I-2-1 令和6年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所周辺）

1 空間放射線

項目区分	目的区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
空間放射線量率	④	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境 γ 線測定法」
	④	境港市外江町(外江公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市彦名町(彦名公民館) 米子市大篠津町(大篠津公民館) 米子市夜見町(夜見公民館)	7	連続測定	—	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (可搬型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境 γ 線測定法」
積算線量	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局) 境港市外江町(外江公民館) 境港市渡町(渡公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市大崎(崎津公民館) 米子市彦名町(彦名公民館)	9	4～6月 7～9月 10～12月 1～3月	36	蛍光ガラス線量計	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線測定法」

※ 7カ所に設置している可搬型モニタリングポストは、緊急時におけるOIL判断に使用するとともに、放射線に係る理解向上など普及啓発と広報を目的に、平常時から空間放射線量率の測定・データ公開を行っている。

2 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能

項目区分	目的区分	測定地点	測定地点	測定期間	測定件数	測定機器	測定方法
大気浮遊じん放射能	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	ZnS(Ag) + プラスチックシンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射線測定法シリーズ「全 β 放射能測定法」 JISZ4316「放射性ダストモニタ」

3 環境試料中の放射性核種分析

項目区分	試料	部位	目的区分	採取地点	採取頻度		測定項目/件数			測定機器	測定方法			
					頻度	採取月	測定項目	件数	測定項目			件数		
大気	浮遊じん	-	(参考)	境港市上道町(鏡港局)	毎月	12	H3	5	90	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」			
				米子市河崎(米子局)								12		
降下物	降下物	-	(参考)	境港市上道町(鏡港局)	毎月	12				γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」			
				米子市河崎(米子局)								12		
陸水	水道水	蛇口水	④	境港市上道町	3年毎 年2回	2	2	2	2	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」			
				米子市河崎								5,11月		
				米子市福市								R7		
植物	松葉	二年葉	(参考)	境港市幸神町	年1回	1	1	1	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」				
				米子市夜見町							10月			
土壌	公園 グラウンド	表層	④	境港市馬場崎町	2年毎 年1回	1	1	1	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」 Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」 Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置				
				米子市河崎							R7			
海水	海水	表層水	④ (参考)	境港市昭和町	2年毎 年2回	2	2	2	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」 Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」 Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置				
				米子市大篠津町							R7			
農産物	米 白ネギ ダイコン ワカメ ワカギ セイゴ ナマコ	精米 可食部 根 可食部 身 身 身	(参考)	米子市夜見町	年1回	1	1	1	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」				
				境港市中海干拓地							10月			
				境港市中海干拓地							12月			
				境港市近海							12月			
				境港市近海							4月			
海産物	ワカメ ワカギ セイゴ ナマコ	可食部 身 身 身	(参考)	境港市近海	年1回	1	1	1	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」	γ線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメリー」				
				境港市近海							7月			
				境港市近海							1月			
合計							62	4	3					

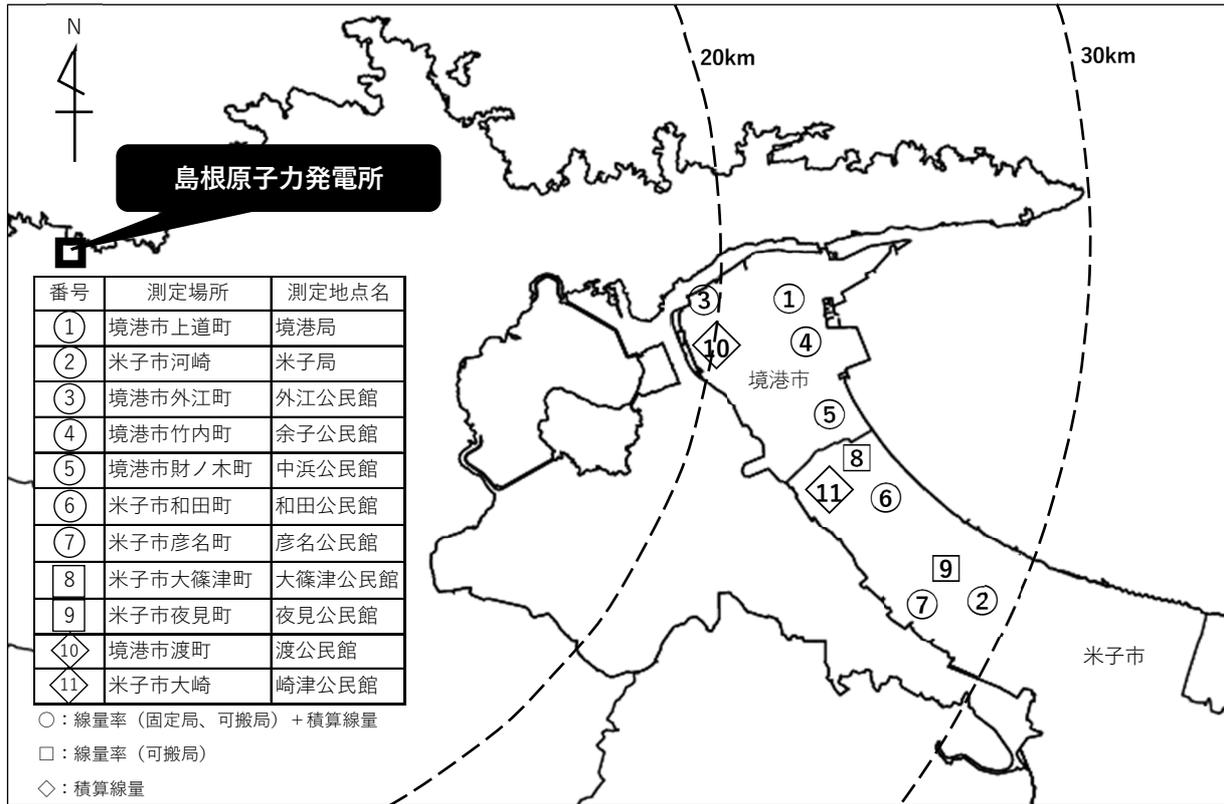


図 I - 2 - 1 空間放射線量率測定地点

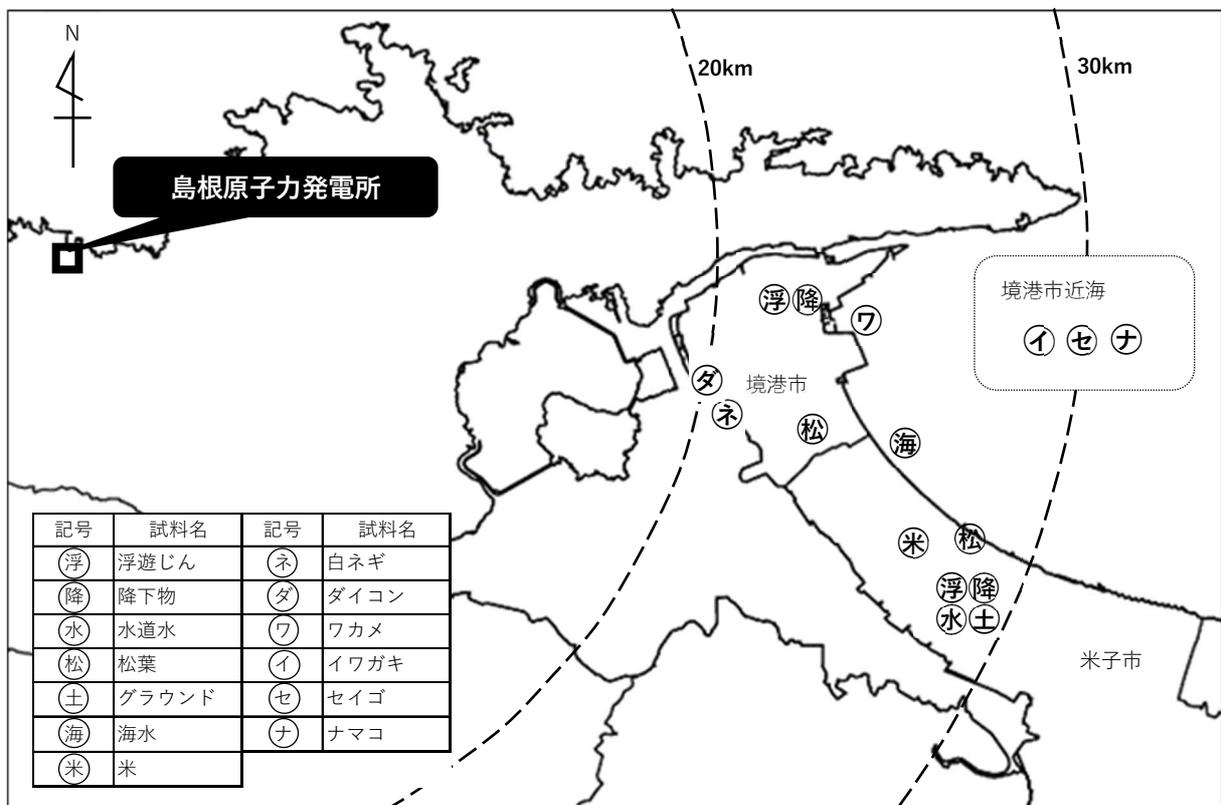


図 I - 2 - 2 環境試料採取地点

表 I - 2 - 2 測定方法及び測定機器

調査項目		測定方法	測定機器	
空間放射線	空間放射線量率	NaI 放射線量率測定装置 連続測定 放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト) 日立製作所製 MSR-R54-21545R1 (可搬型モニタリングポスト) 富士電機製 NAH37401-B-BY2YY-S 日立製作所製 MAR-1561BR3	
	積算線量	積算線量計 3ヶ月間毎の連続測定 放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」	蛍光ガラス線量計(RPLD) 千代田テクノル製 ガラス線量計素子	
大気	浮遊じん放射能	放射性ダストモニタ 放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」JISZ4316「放射性ダストモニタ」(200L/分で3時間集じん後、3時間測定)	ZnS(Ag)+プラスチックシンチレーション検出器 日立製作所製 DSM-RC52-20089-1	
環境試料中放射性核種	浮遊じん	捕集フィルター	γ線スペクトロメトリー 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	
	降下物	濃縮物		
	陸水	水試料/濃縮物		
	植物	灰化物		
	土壌	生試料/風乾物		
	海水	吸着物		
	農産物	生試料/灰化物 ^{※1}		
	陸水	水試料	トリチウム分析	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 (委託分析により実施)
	海水		放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
	陸水	化学処理後の沈殿物	放射化学分析	低バックグラウンドベータ線測定装置 日立製作所製 LBC-4501
土壌	放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」			

※1 生試料を測定後、灰化处理して再度測定

3 令和6年度測定結果（第1～2四半期）

（1）測定結果概要

令和6年度第1～2四半期の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

ア 空間放射線

（ア）空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

固定型モニタリングポスト2地点ともに平常の変動幅の範囲内であった。

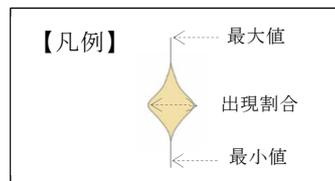
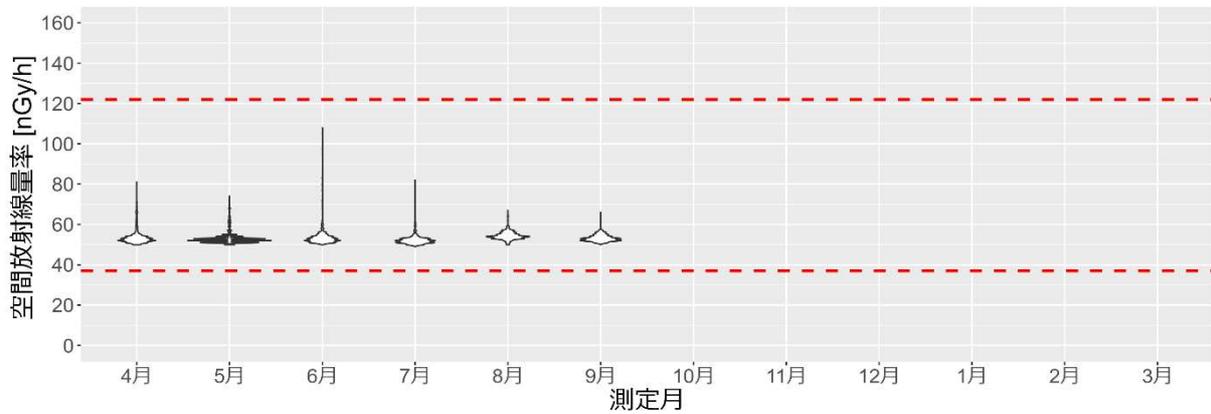
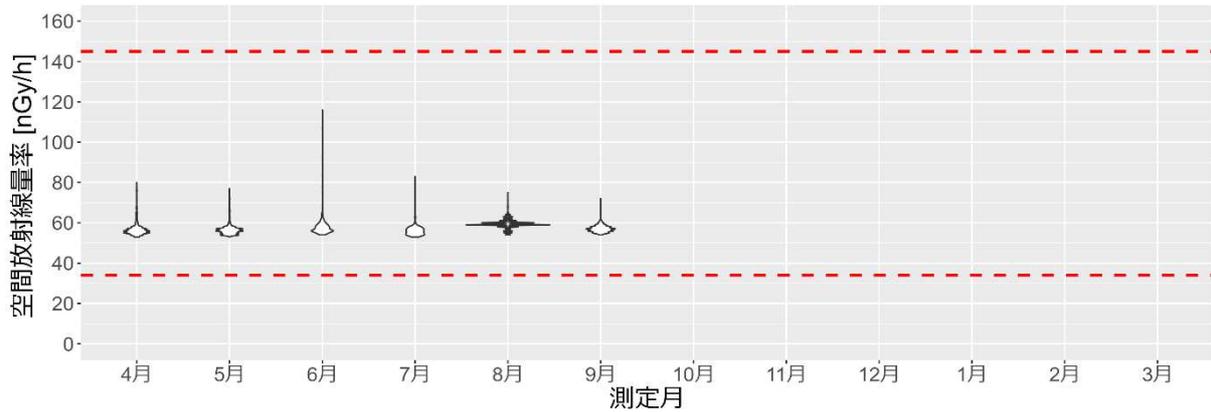
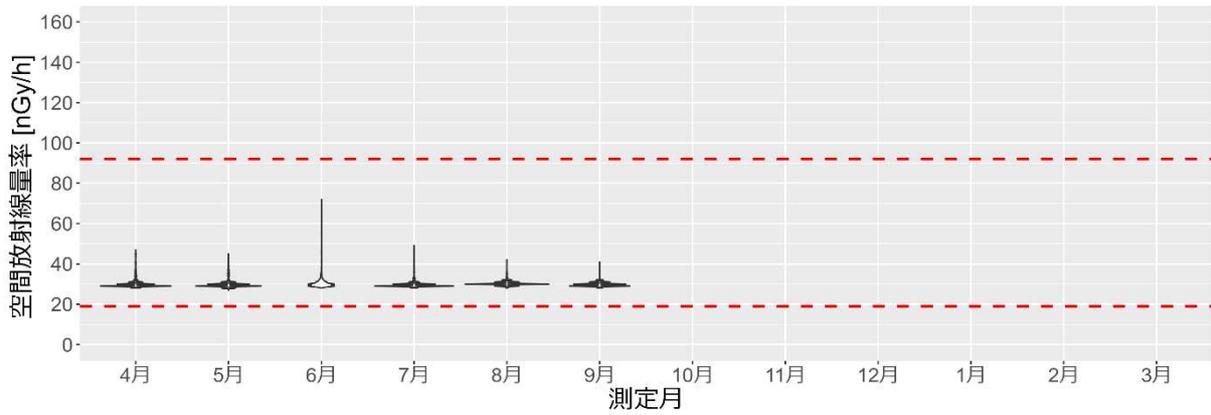
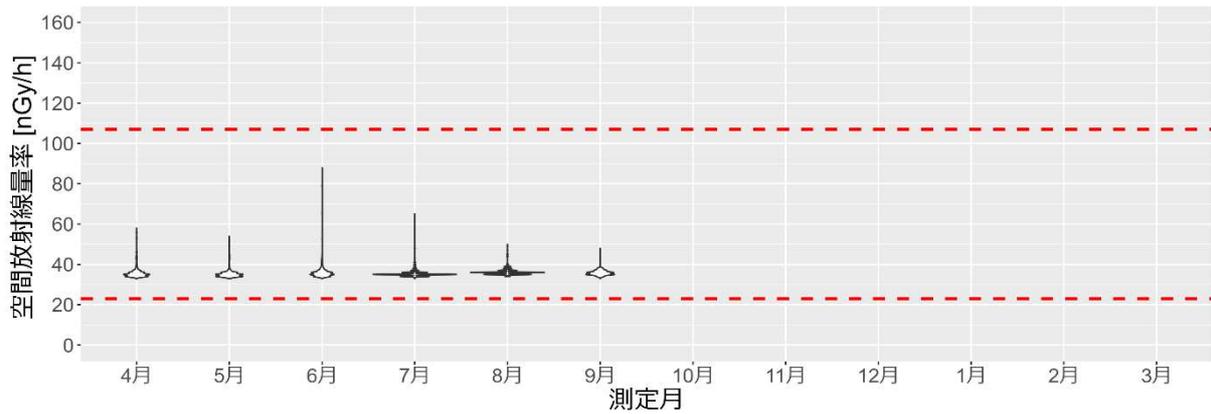


図 I - 3 - 1 a 空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

(参考) 緊急時の可搬型モニタリングポスト7地点の空間放射線量率連続測定結果は、
 全て平常の変動幅の範囲内であった。



外江公民館



余子公民館

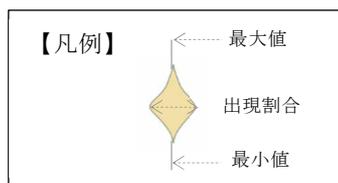
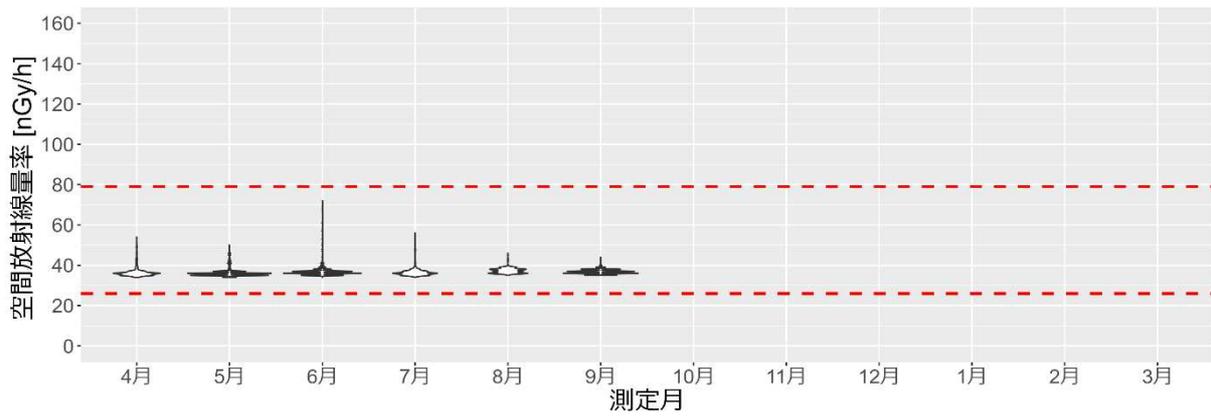
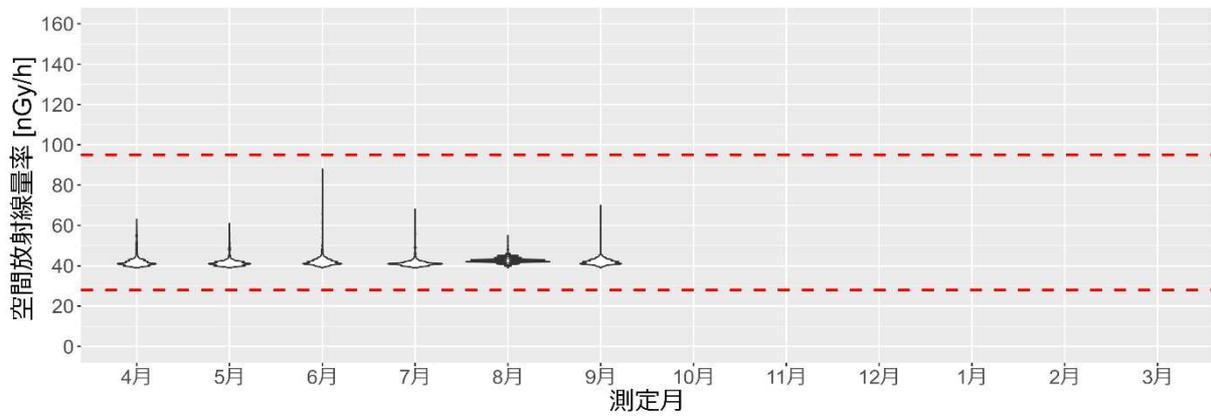


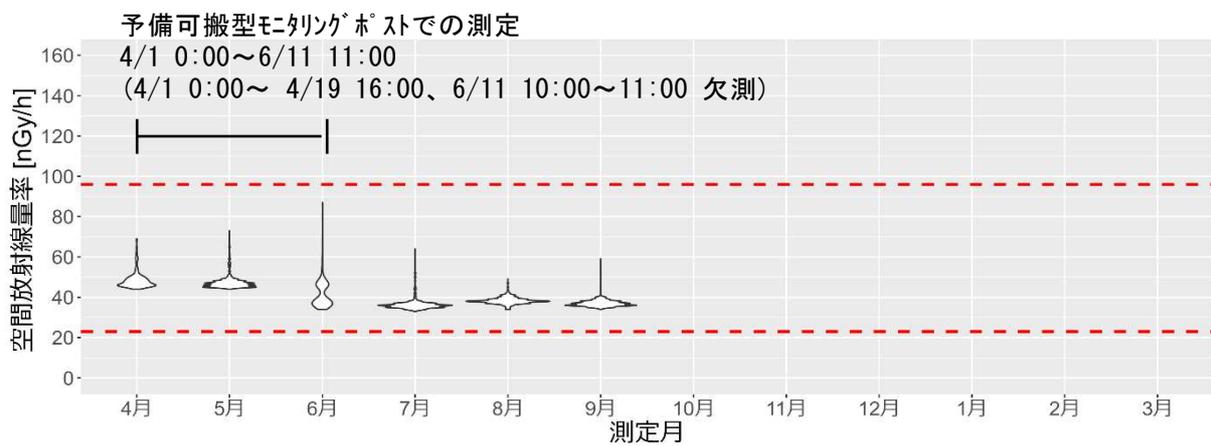
図 I - 3 - 1 b 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)



中浜公民館



大篠津公民館



和田公民館

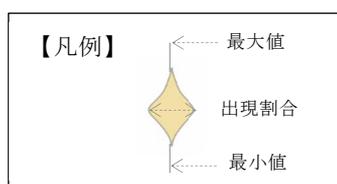
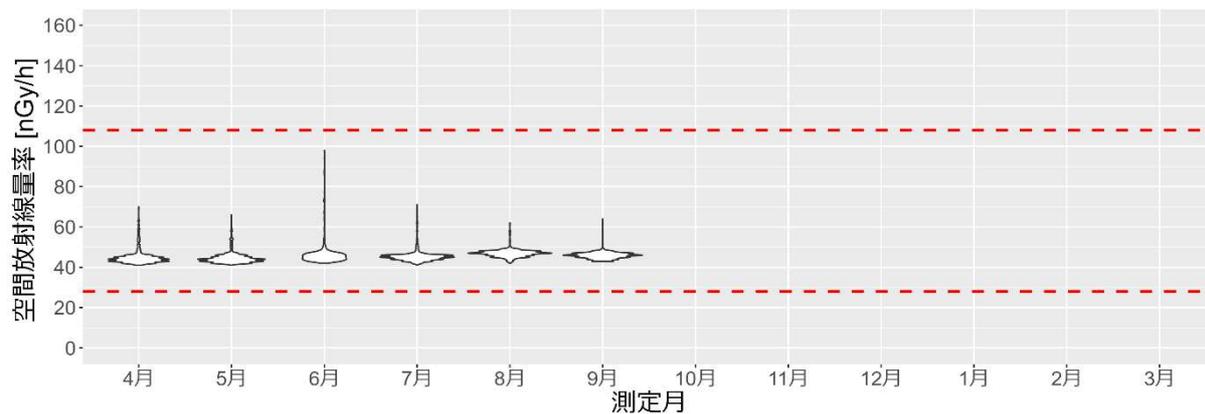
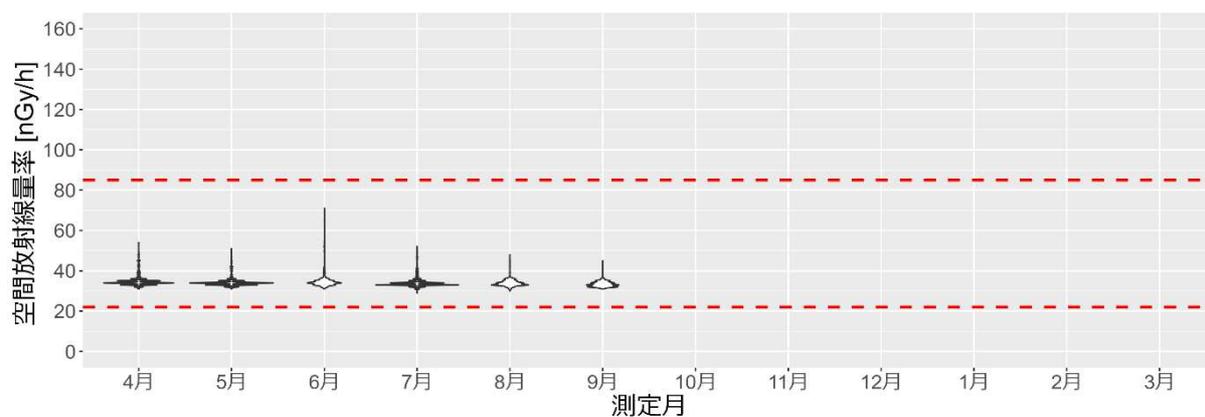


図 I - 3 - 1 c 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)



夜見公民館



彦名公民館

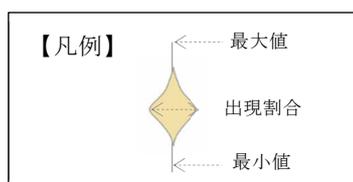


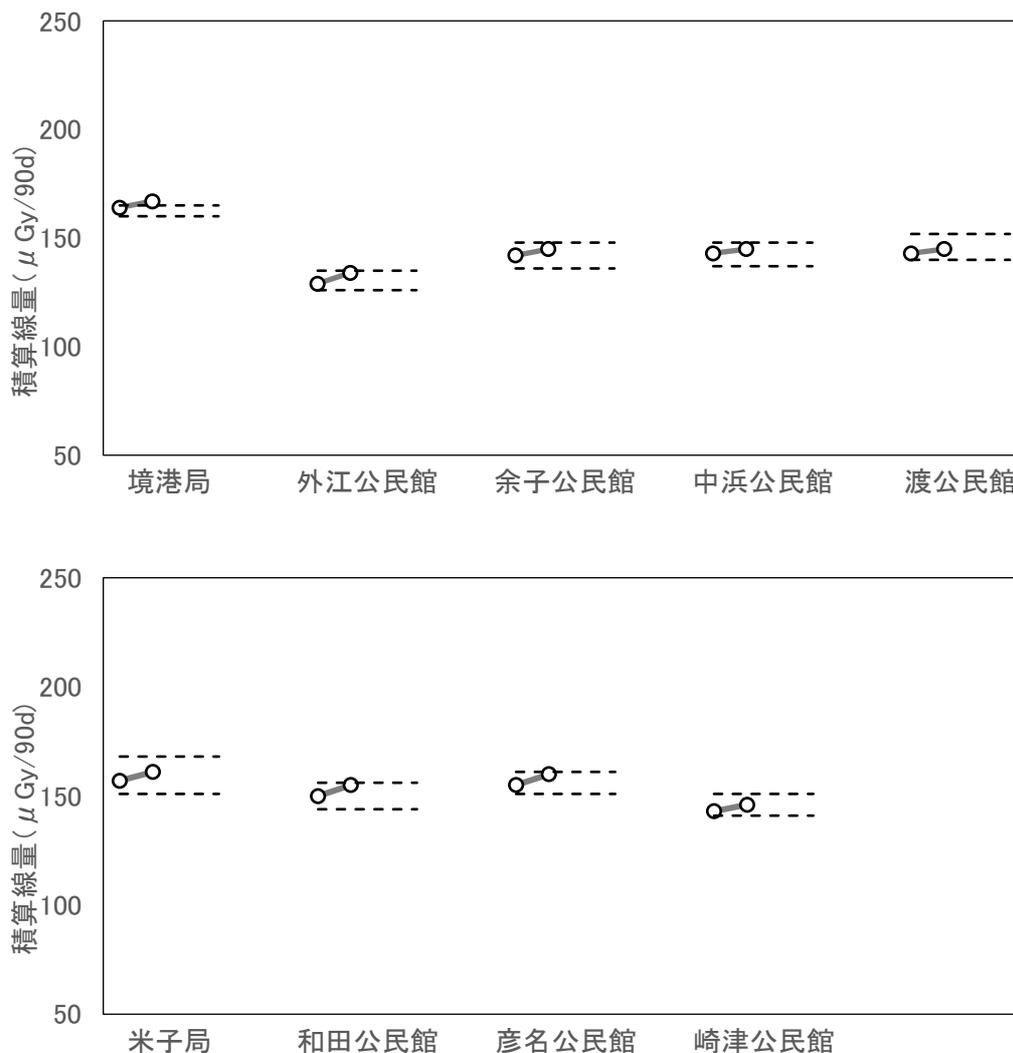
図 I - 3 - 1 d 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)

(イ) 積算線量測定

境港局以外の8地点については、平常の変動幅の範囲内であった。

第2四半期に境港局が平常の変動幅の上限をわずかに超過した。

境港局で平常の変動幅の上限を超過した原因については、同局の平常の変動幅は周辺環境の変化があったために令和5年度からの実績としておりデータ数が少ないこと、また今期間中に周辺環境の変化は確認されなかったことから、自然変動によるものと考えられた。



注1 : ○は第1～2四半期の測定結果、点線は平常の変動幅を示す。

図 I - 3 - 2 積算線量の測定結果 (第1～2四半期まで)

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

米子局及び境港局の大気浮遊じん全 α 放射能並び大気浮遊じん全 β 放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-3-1 大気浮遊じんの全 α 放射能、全 β 放射能の概要（第1～2四半期まで）

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全 α 放射能	境港局	1,431	8	6～1,671	mBq/m ³
	米子局	1,361	8	5～1,983	
全 β 放射能	境港局	4,249	23	18～4,761	
	米子局	4,131	29	18～5,415	

注1：200L/分で3時間集じん後、3時間測定。

注2：平常の変動幅は、R01～R05年度の5年間の最小値から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種

(ア) γ 線スペクトロメトリー

第1～2四半期までの分析結果では、環境試料からCs-137等の測定対象物質は検出されなかった。

表 I-3-2 γ 線スペクトロメトリーの分析結果の概要（第1～2四半期まで）

区分	試料数	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
大気	24(12)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m ³
降下物	24(12)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	MBq/km ²
陸水	2(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2(0)								Bq/kg 生
土壌	1(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	Bq/kg 乾土
海水	2(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
農産物	3(0)								Bq/kg 生
海産生物	4(2)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	Bq/kg 生

注：試料数のカッコ内は第1～2四半期までの試料数

(イ) トリチウム分析

海水（1試料）からH-3は検出されなかった。

陸水（1試料）からH-3が検出されたが、平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-3-3 トリチウム（H-3）の分析結果の概要（第1～2四半期まで）

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	(令和8年度測定予定)		0.37, (11月採取)	ND～ 0.37	(令和7年度測定予定)		Bq/L

区分	試料	境港市昭和町		米子市大篠津町		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
海水	海水	(令和7年度測定予定)		ND, (11月採取)	ND～ 0.39	Bq/L

(ウ) 放射化学分析（Sr-90）

本年度より測定を開始した米子市河崎の陸水（水道水）のSr-90測定結果は0.73mBq/Lであった。全国の環境放射能水準調査における蛇口水のSr-90測定結果（ND～2.6mBq/L）と比較して同レベルであり、過去の核実験フォールアウトの影響と考えられた。

土壌（グラウンド）のSr-90測定結果は平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-3-4 ストロンチウム（Sr-90）の分析結果の概要（第1～2四半期まで）

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	(令和8年度測定予定)		0.73, (11月採取)	(R06～)	(令和7年度測定予定)		mBq/L

区分	試料	境港市馬場崎町		米子市河崎		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
土壌	公園	(令和7年度測定予定)		/		Bq/kg 乾土
	グラウンド	/		0.28	ND～ 0.47	

(2) 測定項目別の結果

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定

表 I-3-5 固定型モニタリングポストの連続測定結果 (1時間値)

(単位: nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	80	77	116	83	75	72								145
	最低値	53	53	54	53	54	54								34
	平均値	57	57	58	56	59	57								—
米子局	最高値	81	74	108	82	67	66								122
	最低値	50	50	50	49	50	50								37
	平均値	54	53	54	53	54	53								—

注1:「平常の変動幅」:前年度までの5年間(R01~R05)の最小値から最大値までの範囲。

表 I - 3 - 6 可搬型モニタリングポストの連続測定結果（1時間値）

（単位：nGy/h）

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
外江 公民館	最高値	47	45	72	49	42	41								92
	最低値	28	27	28	28	28	28								19
	平均値	30	30	31	30	30	30								—
余子 公民館	最高値	58	54	88	65	50	48								107
	最低値	33	33	33	33	34	33								23
	平均値	36	36	37	36	36	36								—
中浜 公民館	最高値	54	50	72	56	46	44								79
	最低値	34	34	34	34	35	35								26
	平均値	36	36	37	37	37	37								—
大篠津 公民館	最高値	63	61	88	68	55	70								95
	最低値	39	39	39	39	39	39								28
	平均値	42	42	43	42	43	42								—
和田 公民館	最高値	—	—	87	64	49	59								96
	最低値	—	—	34	33	34	34								23
	平均値	—	—	39	37	38	37								—
夜見 公民館	最高値	70	66	98	71	62	64								108
	最低値	41	41	42	41	42	43								28
	平均値	45	45	46	46	47	46								—
彦名 公民館	最高値	54	51	71	52	48	45								85
	最低値	31	31	31	29	30	31								22
	平均値	35	34	35	34	34	33								—

注1:「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(R01～R05)の最小値から最大値までの範囲。

注2:和田公民館は代替測定対応のため、4/1 0時～6/11 11時の期間に

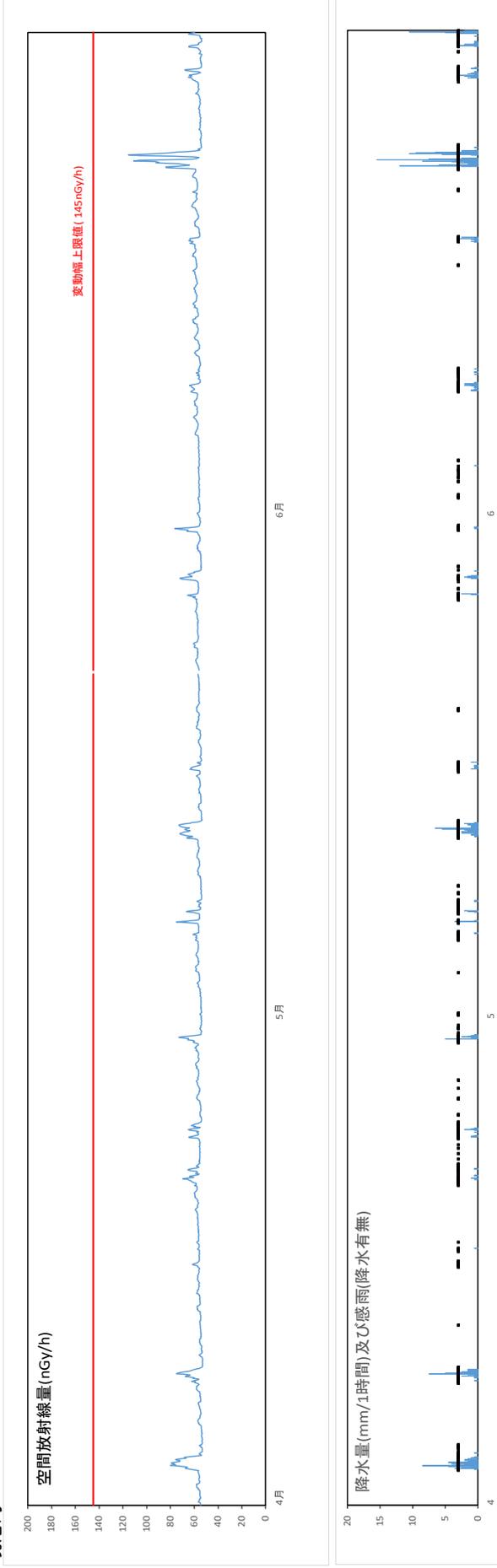
予備の可搬型モニタリングポストにより補完測定を行った。予備機による測定結果は下表のとおり。

（予備機での測定結果）

地点	測定期間	最高値	最低値	平均値
和田公民館（予備機）	R6. 4. 19～R. 6. 11※	73	44	48

※ 4/1～4/19 電源部の不具合により欠測

境港局



米子局

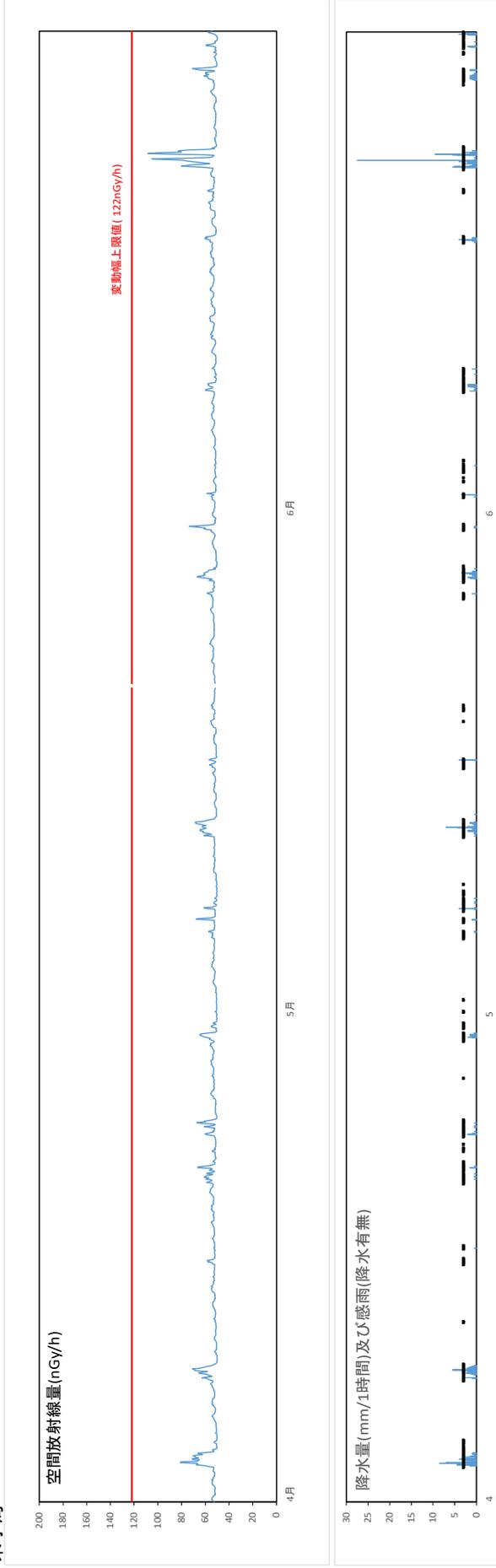
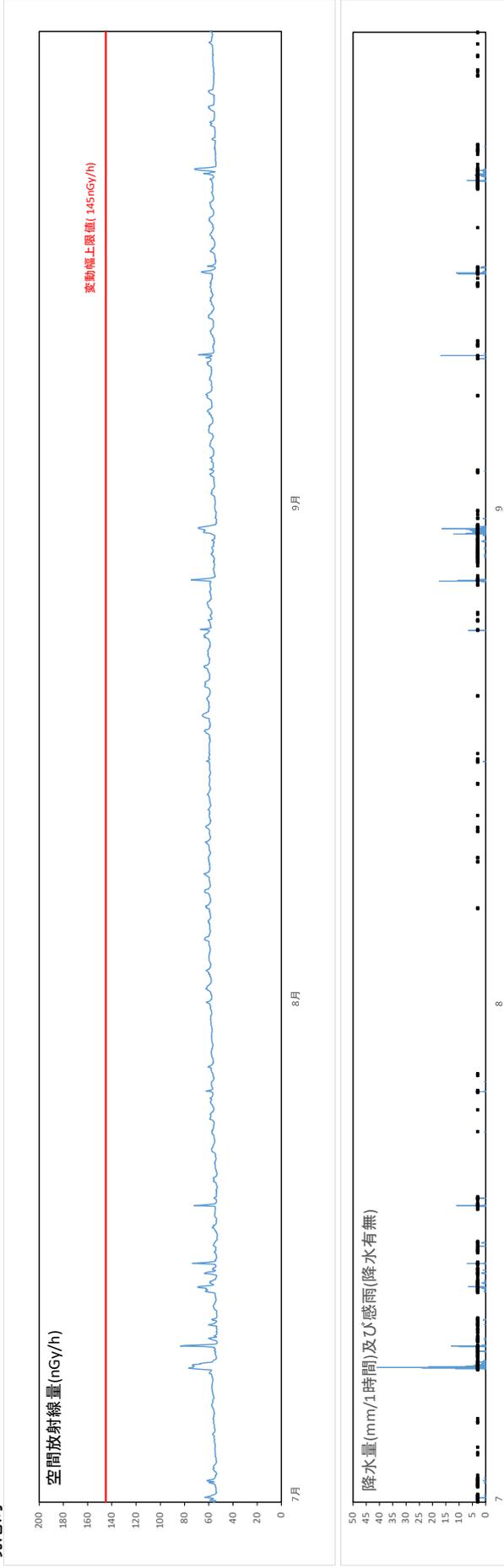


図 I - 3 - 3a 空間放射線量率と降水量の関係 (令和6年度第1四半期、1時間値)

境港局



米子局

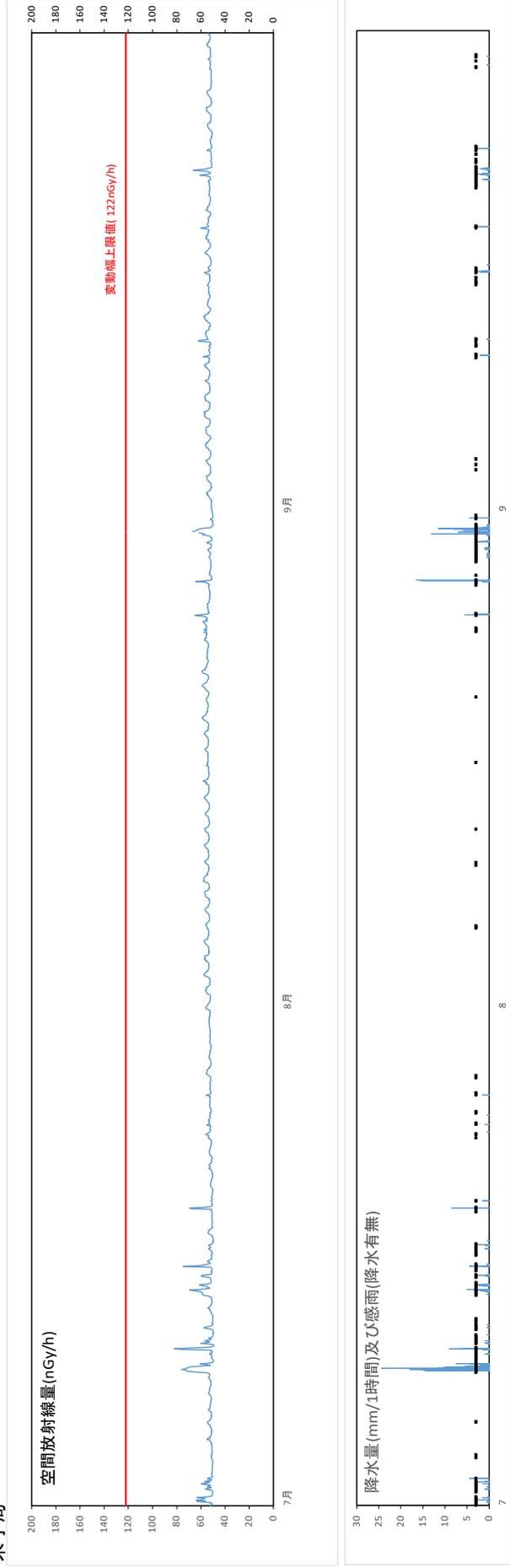


図 I-2-7b 空間放射線量率と降水量の関係 (令和6年度第2四半期、1時間値)

(イ)積算線量測定

表 I - 3 - 7 積算線量の測定結果

(単位:上段 $\mu\text{Gy}/90\text{d}$ 、下段 $\mu\text{Gy}/\text{h}$)

測定地点	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	平常の変動幅 (暫定値)	年間線量 ($\text{mGy}/365\text{d}$)
境港局	164 (0.076)	<u>167</u> (<u>0.077</u>)			160～165 (0.074～0.076)	
米子局	157 (0.073)	161 (0.075)			151～168 (0.070～0.078)	
外江公民館	129 (0.060)	134 (0.062)			126～135 (0.058～0.063)	
余子公民館	142 (0.066)	145 (0.067)			136～148 (0.063～0.069)	
中浜公民館	143 (0.066)	145 (0.067)			137～148 (0.063～0.068)	
和田公民館	150 (0.069)	155 (0.072)			144～156 (0.067～0.072)	
彦名公民館	155 (0.072)	160 (0.074)			151～161 (0.070～0.075)	
渡公民館	143 (0.066)	145 (0.067)			140～152 (0.065～0.076)	
崎津公民館	143 (0.066)	146 (0.068)			141～151 (0.066～0.070)	

注1:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R05年度)とする。

注2:下段()内の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したものの。

注3:下線部は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

表 I - 3 - 8 大気浮遊じんの測定結果

(単位: mBq/m³)

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全 α 放射能	境港局	最高値	1,009	1,141	1,369	815	1,431	1,125								1,671
		最低値	32	10	21	8	20	27								6
		平均値	217	190	275	162	226	270								
	米子局	最高値	1,295	1,305	1,235	1,095	1,361	1,276								1,983
		最低値	47	12	19	8	13	18								5
		平均値	318	247	312	198	304	315								
全 β 放射能	境港局	最高値	2,817	3,108	4,178	2,496	4,249	3,145								4,761
		最低値	89	27	61	23	59	75								18
		平均値	639	559	843	503	667	816								
	米子局	最高値	3,521	3,668	3,723	3,312	4,131	3,729								5,415
		最低値	144	38	61	29	40	64								18
		平均値	930	729	964	630	927	988								
全 β 全 α	境港局	最高値	3.3	3.4	3.5	3.6	3.4	3.6								
		最低値	2.6	2.5	2.6	2.7	2.6	2.7								
		平均値	2.9	2.9	3.0	3.1	2.9	3.0								
	米子局	最高値	3.3	3.5	3.7	3.7	3.6	3.7								
		最低値	2.7	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8								
		平均値	2.9	3.0	3.1	3.2	3.1	3.2								

注1: 下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

注2: 3時間集じんし、3時間測定。

注3: 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R01~R05年度)の最小から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリー）
 (ア) 大気（浮遊じん）

表 I-3-9 大気（浮遊じん）の測定結果

(単位:mBq/m³)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)	
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137	
境港市上道町 (境港局)	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.6	0.59	ND	
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.6	0.46		
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.6	0.28		
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.3	0.41		
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.3	0.41		
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.4	0.41		
米子市河崎 (米子局)	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.31	ND ~0.010	
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.5	0.40		
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.5	0.31		
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.1	0.37		
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.4	0.54		
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.3	0.50		

注1:NDは検出下限値未滿を示す。

注2:H30年度から1ヶ月間の連続採取(H24~29年度は月1回の24時間採取)

注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26~R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(イ) 降下物

表 I-3-10 降下物の測定結果

(単位: MBq/km²)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町 (境港局)	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	99	ND	ND
	5月1日～6月3日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	78	ND	
	6月3日～7月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	77	ND	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	110	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	66	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	32	ND	
						/					
						/					
						/					
						/					
米子市河崎 (米子局)	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	120	ND	ND～ 0.18 (注3)
	5月1日～6月3日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	82	ND	
	6月3日～7月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	73	ND	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	110	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	79	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	24	ND	
						/					
						/					
						/					
						/					

注1: NDは検出下限値未満を示す。

注2: 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3: 米子局はR01年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R05年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

(ウ) 陸水

表 I-3-11 陸水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
水道水	蛇口水	米子市河崎	R06.05.01	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	35	ND
			(11月予定)					/					

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(エ) 植物

表 I-3-12 植物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
松葉	二年葉	境港市幸神町	(10月予定)										0.18～0.79
		米子市夜見町	(10月予定)										0.071～0.18

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(オ) 土壌

表 I-3-13 土壌の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
グラウンド	表層	米子市河崎	R06.06.20	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	940	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(カ) 海水

表 I-3-14 海水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
海水	表層水	米子市大篠津町	R06.05.23	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	11	170	ND～2.2
			(11月予定)					/					

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26～R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(キ) 農産物

表 I-3-15 農産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137	
米	精米	米子市夜見町	(10月予定)											0.13~0.28
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	(12月予定)											ND
ダイコン	根	境港市中海干拓地	(12月予定)											ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26~R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3:米は生産者の変更に伴い、R01年度から採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

(ク) 海産生物

表 I-3-16 海産生物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137	
ワカメ	可食部	境港市近海	R06.04.04	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.6	260	ND	
イワガキ	身		R06.07.17	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	3.4	76	ND	
セイゴ	身		(1月予定)					/						0.10~0.16
ナマコ	身		(3月予定)					/						ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H26~R05年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

エ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

表 I-3-17 トリチウムの測定結果

(単位:Bq/L)

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)
陸水	水道水	蛇口水	米子市河崎	R06.05.01	0.37	ND ~ 0.37
				(11月予定)		
海水	海水	表層水	米子市大篠津町	R06.05.23	ND	ND ~ 0.39
				(11月予定)		

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H27~R05年度)とする。

オ 環境試料中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表 I-3-18 ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸水	水道水	蛇口水	米子市河崎	R06.05.01	0.73	(R06~)	mBq/L
				(11月予定)			
土壌	グラウンド	表層	米子市河崎	R06.06.20	0.28	ND~0.47	Bq/kg乾土

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(土壌:H30~R05年度)とする。